

伊豆市監査委員 告示第7号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり公表する。

平成26年11月7日

伊豆市監査委員 宮内 知秋

伊豆市監査委員 三田 忠男

記

1. 監査の期日 平成26年10月22日（水）
2. 監査の対象 教育委員会事務局学校教育課、社会教育課、図書館
3. 監査の方法
提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を行った。
4. 監査の結果
監査を実施した範囲においては、関係法令等に準拠して執行されており、特に指摘事項はありません。
5. 監査の概要、意見
対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりです。

教育委員会事務局

(1) 図書館

- ① 図書館システムは、市内の図書館4館を市内ネットワークで結び、貸出・返却・予約等の窓口業務、利用者管理、資料管理、インターネットを使った図書館サービスなど、円滑な図書館運営を実施するために有効に活用している。本システムは平成22年9月1日から平成27年8月31日まで5年間の賃貸借契約を行っており、月額の使用料は514,714円である。
- ② 図書館の利用状況及び図書の貸出し状況を確認した。平成25年度の来館者数は、修善寺図書館においては前年度比2.24%の増となったが、全体では0.13%の微減であった。

【平成25年度図書館利用状況】

館名	年間貸出人数	年間貸出冊数	1日平均貸出者数	1日平均来館者数
修善寺図書館	26,858人	128,442冊	92人	267人
中伊豆図書館	4,725人	20,549冊	16人	38人
天城図書館	2,648人	11,565冊	9人	16人
土肥図書館	3,622人	14,792冊	12人	27人
合計	37,853人	175,348冊	129人	348人

- ③ 各図書館では講座や教室の開催を行っており、平成25年度は2,450人の参加があった。一見、図書館とはあまり関連のないと思われる押し花の工作やマジックショーなど新たな教室を開き、来館者増加のための努力をしている。引き続き、図書館利用のきっかけとなるよう事業の工夫をされたい。
- (2) 社会教育課
- ① 生涯学習推進事業費補助金の交付状況と各地区の事業内容を確認した。平成25年度は、78の対象地区の内75の地区から申請があり補助金を交付した。補助金額は1地区2万円。事業内容で多かったものは、祭典、花壇整備、環境整備などであった。これらの活動が地域コミュニティの活性化に寄与することを望みます。
- ② グリーンコンサート事業は、公益財団法人日本交響楽振興財団の協力を受け行っている。本年は、新日本フィルハーモニー交響楽団による演奏が行われ、983人の来場者があった。アンケートによると約60%の来場者が市民であった。また、初めての試みとして指定席の販売を行い好評であったという。身近で芸術に触れる良い機会であるので、今後も継続を望みます。
- ③ 修善寺郷土資料館及び中伊豆歴史民俗資料館の運営状況について確認した。修善寺郷土資料館は、平成25年度の入場者数は2,323人で、1日平均7.8人であった。今年度は、伊豆市制施行10周年を記念して、修善寺ゆかりの近代日本画展を公開中で、1日平均15人の入場者となっている。平成27年4月からは、伊豆半島ジオパーク推進協議会の中央拠点施設として生まれ変わり、資料館は廃止となる。また、中伊豆歴史民俗資料館は、平成25年度の入場者数は1,138人であった。今後は、伊豆市が所蔵する日本画等を展示する美術館建設に向け、委員会を発足し検討を行う予定であることを確認した。
- ④ 社会教育課が委託する指定管理施設は、狩野川記念公園、中伊豆屋内温水プール、天城温泉プール、修善寺体育館及びグラウンドの4施設である。指定管理料については、全体の経費から利用料金収入及び自主事業収入を差引いた額で算出していることを確認した。

【平成25年度指定管理状況】

施設名	指定管理料	指定管理者
狩野川記念公園	10,850,000円	(株)サンアメニティ
中伊豆屋内温水プール	16,970,400円	(有)伊豆スイムサポート
天城温泉プール	13,202,400円	(有)伊豆スイムサポート
修善寺体育館・グラウンド	12,045,600円	NPO伊豆市体育協会

- ⑤ スポーツ推進委員事業の状況を確認した。昨年度実施のみんなの運動会は好評であった。出前教室やウォーキング、軽スポーツ、ハイキングなどを行っているが、参加者の確保が課題である。より魅力的な企画立案とともに、市民全般に周知する方法を検討されたい。
- ⑥ 伊豆市公共施設予約・案内システムは、施設の空き状況の確認のための運用に止まっている。今後は予約システムの運用に向け研究されたい。

(3) 学校教育課

- ① 市内の小学校・中学校における要保護、準要保護児童生徒援助費補助金の交付状況を確認した。個人情報の取り扱いには充分注意をされたい。
- ② 放課後児童クラブについては、児童福祉法の改正により、事業の設備及び運営について条例制定が義務付けられ、伊豆市においても来年度施行予定である。

現在、伊豆市では、6つの児童クラブが開設され161人の児童が在籍している。新制度施行後は、対象児童の範囲が広がることから需要増が見込まれ、その需要に対応する施設や指導員の配置、環境の整備が求められるとの説明であった。新制度移行への対応に異論のないよう進めていただきたい。

- ③ 市内の学校給食は、中伊豆給食センター、天城給食センター、修善寺中学校給食室の3施設で、約2,600食の調理を行っていることを確認した。修善寺中学校は自校方式で行っているが、その他の小・中学校は2つのセンターから配送を行っている。また、各施設の調理、配送については、業者委託にて行っている。

今後も、衛生管理はもちろんアレルギー対策にも遺漏のないよう願います。

【業務委託契約の状況】

委託施設	委託金額(3年間)	委託期間	委託業者
修善寺中学校(調理)	68,355,000	平成25年4月1日 から 平成28年3月31日	レクトン
中伊豆給食センター(調理)	120,519,000		シダックスフード
中伊豆給食センター(配送)	21,577,500		東海運輸
天城給食センター(調理)	124,425,000		レクトン
天城給食センター(配送)	27,342,000		東海運輸

- ④ 給食費の収納状況については、ピーク時には150万円ほどの未納となっていたが、平成25年度末現在で33万8千円となった。収納事務において職員の努力が認められるが、未納額を無くすようさらなる努力を望みます。
- ⑤ 伊豆市の教職員の研修については、「伊豆市教育センター」及び「田方地区教員研修協議会」などにおいて、公開授業や授業力向上研修、若手教員研修、中堅教員研修など、教員の資質向上や教育水準の向上を図るための事業が行われていることを確認した。
- ⑥ 外国語指導助手(ALT)業務委託は、株式会社インタラック浜松支店と委託契約を結び、6人のALTを市内の幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校に派遣していることを確認した。現在の契約は、平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間で、契約総額は8,667万円である。

外国人並びに生きた英語に触れることで、子どもたちのコミュニケーション能力の向上や国際理解の一助となることを期待します。